

やまぐち森林づくり推進協議会

＝第3回会議資料＝



平成23年3月25日

山口県農林水産部森林企画課・森林整備課

《資料内容のお問い合わせ先》

山口県農林水産部森林企画課流域管理推進班

(担当者) 赤川瑞夫、金子省一

(電話番号) 083-933-3464

目 次

- ◆ 平成22年度実施事業の取組み状況 …………… p.1
 - 1 全体概要
 - 2 健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）
 - 3 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）

- ◆ 平成23年度事業計画 …………… p.17
 - 1 平成23年度事業費について
 - 2 平成23年度事業計画について

平成22年度実施事業の取組み状況

1 全体概要

森林づくり県民税の見直し後の初年度となる平成22年度においては、ハード事業としてこれまで実施してきた荒廃したスギやヒノキの人工林を再生する「公益森林整備事業」、繁茂した竹林の整備を行う「竹繁茂防止緊急対策事業」の中核事業に加え、公益森林整備事業地や竹繁茂防止緊急対策事業地のフォローアップなどを行う「豊かな森林づくり推進事業」等を実施した。また、森林づくりフェスタやモデル林等を活用したイベントの開催など、県民の理解促進を図るためのソフト事業として「県民との協働による百年の森づくり推進事業」を実施するとともに、新たな取り組みとして、森林づくり活動を行うボランティア団体に資機材等を支援する「森林づくり活動支援事業」を実施した。

《平成22年度事業計画と実績見込み（平成23年3月18日現在）》

（事業費の単位；千円）

区分		平成22年度事業		5年間の整備目標	摘要
		計画	実績見込み		
健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）					
公益森林整備事業	整備面積	400 [㍉]	400 [㍉]	2,000 [㍉]	
	事業費	203,000	203,000		
竹繁茂防止緊急 対策事業	整備面積	150 [㍉]	150 [㍉]	600 [㍉]	
	再生竹除去面積	141 [㍉]	141 [㍉]		
	事業費	170,554	170,554		
魚つき保安林等 海岸林整備事業	整備面積	1 [㍉]	1 [㍉]	5 [㍉]	
	事業費	2,500	2,500		
豊かな森林づくり 推進事業	事業費	15,000	15,000	—	
県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）					
森林づくり活動 支援事業	事業費	7,852	7,852	—	
県民との協働による百 年の森づくり推進事業	事業費	5,000	5,000	—	・フェスタ ・各種広報
事業費計		403,906	403,906		

2 健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）

荒廃したスギ・ヒノキ人工林の再生を行う公益森林整備事業をはじめとする4つの森林整備事業に取り組み、当初計画どおり事業を進めることができている。

(1) 公益森林整備事業

荒廃した私有林のスギやヒノキの人工林の再生を行う公益森林整備事業については、18市町364箇所を実施し、当初計画の整備を達成する予定である。

区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
整備面積	400㍍	400㍍	100パーセント	

実施例

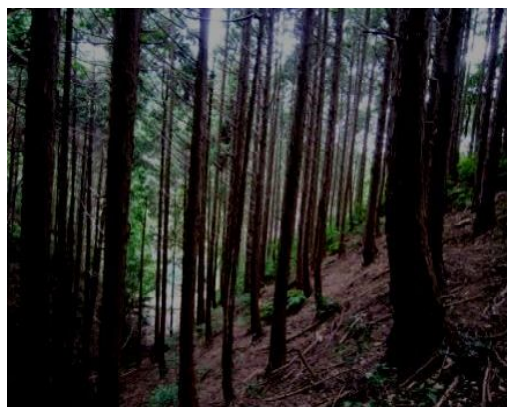
【概要】

場所	長門市西深川字杷ノ木
面積	1.85㍍
施行内容	スギ、ヒノキ40年生の強度間伐、林内の整理

(位置図)



(施行前)



(施行後)



(2) 竹繁茂防止緊急対策事業

竹の全伐は17市町66箇所を実施しており、当初計画の整備を達成する予定である。

区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
整備面積	150㍍	150㍍	100%	

実施例

【概要】

場所	萩市大字明木字野地
面積	4.52㍍
施行内容	スギ・広葉樹林に侵入した竹の伐採、林内整理

(位置図)



(施行前)



(施行後)



また、平成19年度から平成20年度までの事業実施箇所（141箇所）における再生竹の除去については、17市町90箇所で実施しており、全て完了している。

区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
再生竹の除去	141箇所	141箇所	100%	

実施例

【概要】

場所	下関市大字植田字大浴
面積	5.40ha
施行内容	再生竹の除去、林内の整理

（位置図）



（施行前）



（2年後に発生した再生竹）



（施行後）



(3) 魚つき保安林等海岸林整備事業

松くい虫や台風などの被害により荒廃した海岸林について、県内1箇所、新たに抵抗性マツを植栽するなどの整備を行い、当初計画を達成する予定である。

区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
整備面積	1㍍	1㍍	100㍍	下関市豊北町阿川

実施例

【概要】

場所	下関市豊北町阿川
面積	1.00㍍
施行内容	抵抗性きらら松植栽 作業歩道設置

(位置図)



(施行前)



(施行後)



◆植栽状況

(4) 豊かな森林づくり推進事業

公益森林整備事業地や竹繁茂防止緊急対策事業地のフォローアップを行う広葉樹の植栽や、本県の地域特性を踏まえた、機能の低下した森林の機能回復を図るため広葉樹の植栽等を行った。

① 公益森林整備事業地・竹繁茂防止緊急対策事業地のフォローアップ事業

植生の回復が遅い事業地を対象に広葉樹を植栽し、早期に針広混交林化、広葉樹林化を促進するため、11市町28箇所で実施し、当初計画の整備を達成する予定である。

区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
整備面積	10.5㍍	10.5㍍	100%	公益森林整備事業地17箇所6㍍ 竹繁茂防止緊急対策事業地11箇所4.5㍍

実施例

【概要】

場所	下関市菊川町大字上岡枝
面積	1.6㍍
施行内容	公益森林整備事業地における広葉樹植栽等

(位置図)



(施行前)



◆シダ繁茂等により植生の回復が遅れている状況

(施行後)



◆植栽状況

② 地域特性を考慮した本県の独自課題へ対応するモデル事業

(1) 耕作放棄地における竹繁茂対策

耕作放棄地に侵入した竹の全伐を実施し、自然回復等による森林への誘導手法を検討するため、8市町8箇所で開催を行い、当初計画を達成する予定である。

区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
整備面積	2.0㍍	2.0㍍	100%	各圏域1箇所の実施

実施例

【概要】

場所	岩国市美和町北中山
面積	0.1㍍
施行内容	耕作放棄地に侵入した竹の伐採、林内の整理

(位置図)



(施行前)



◆耕作放棄地（畑跡地）に竹が繁茂している状況

(施行後)



◆全伐後の状況

(2) 海岸地域における緑化対策

風害、潮害などを受けやすい海岸地域で潮害等に強い樹種を植栽し、早期緑化手法を検討するため、2市2箇所の整備を行い、当初計画を達成する予定である。

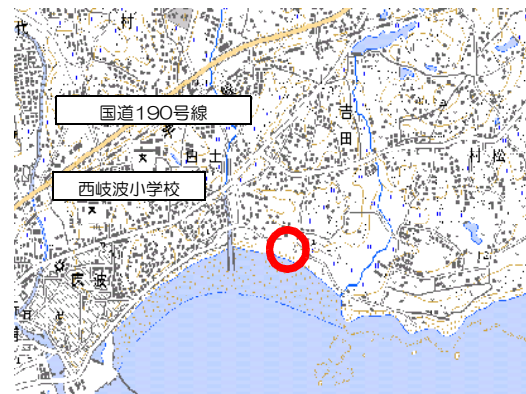
区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
整備面積	1.0㍍	1.0㍍	100㍻	下松市笠戸 宇部市大字西岐波

実施例

【概要】

場所	宇部市大字西岐波
面積	0.3㍍
施行内容	抵抗性きらら松植栽 単木防風柵の設置

(位置図)



(施行前)



◆松くい虫被害により無立木地化した状況

(施行後)



◆単木防風柵の設置と植栽状況

(3) 荒廃したアカマツ林の再生対策

荒廃したアカマツ林において、林木の成長が悪い土壌条件に強い樹種や松くい虫被害に強い抵抗性アカマツを植栽をするなど、荒廃しているアカマツ林の再生手法を検討するため、防府市で整備を行い、当初計画を達成する予定である。

区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
整備面積	2.0㊦	2.0㊦	100㊦	防府市三谷

実施例

【概要】

場所	防府市三谷
面積	2.0㊦
施行内容	筋状地拵え 抵抗性アカマツ植栽

(位置図)



(施行前)



◆松くい虫被害を受けたアカマツ林

(施行後)



◆筋状地拵と植栽状況

(4) 身近な森と緑を提供する自然公園の再生対策

県立自然公園において無立木地化している森林等を対象に、広葉樹を植栽し豊かな森林への回復手法を検討するため、山口市で整備を行い、当初計画を達成する予定である。

区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
整備面積	1.0㍍	1.0㍍	100㍍	山口市徳地大原東 (長門峡県立自然公園)

実施例

【概要】

場所	山口市徳地大原東
面積	1.0㍍
施行内容	景観整備 広葉樹の植栽

(位置図)



(施行前)



◆利用施設周辺で、ササやクズの繁茂状況

(施行後)



◆景観整備の状況

3 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）

(1) 森林づくり活動支援事業

県民の森林づくり活動への参画を促進し、森林づくりへの理解をさらに高めるため、ボランティア団体等が地域のニーズに応じて取り組む自主的な森林づくり活動などの提案を公募し、応募申請のあった19団体について森林づくり活動の支援を行い、当初計画の活動が達成される予定である。

区分	計画	実績見込み	達成率	摘要
支援団体	19団体	19団体	100%	

実施例

【竹林ボランティア柳井（柳井市）の活動状況】



◆竹林の整備



◆伐採した竹を利用したミニ門松づくり

【百笑倶楽部（周南市）の活動状況】



◆竹林の整備



◆植樹会場地の整備

【竹林ボランティア山口（山口市）の活動状況】



◆一般市民との協働により実施した竹林の整備

【竹林ボランティア平沼田（山陽小野田市）の活動状況】



◆竹林の整備



◆伐採した竹を利用した竹炭づくり

【きくがわ竹林ボランティア（下関市）の活動状況】



◆竹林の整備



◆伐採した竹を利用した竹杭づくり

【萩里山応援隊「こもれび」（萩市）の活動状況】



◆竹林の整備



◆伐採した竹を利用した竹垣づくり

(2) 県民との協働による百年の森づくり推進事業

制度見直し後の初年度となる平成22年度においては、税制度の継続と具体的な事業内容の周知を行うため、「やまぐち森林づくりフェスタ」の開催、公益森林整備事業や竹繁茂防止緊急対策事業などの事業地を活用したイベント及び森林環境学習を開催するなど、各種周知活動を実施した。

事業の実施に当たっては、県民の皆様のご意見をお聴きしながら進めるため、事業の進捗に合わせて「やまぐち森林づくり推進協議会」を開催し、ご意見を反映しながら進めてきた。

この他、新規事業を活用したプレスリリースを行い、新聞、テレビ、ケーブルテレビなどのパブリシティを通じた周知にも努めた。また、周知率の低い、下関地域、宇部・小野田地域においては、森林づくりレポートや県民税のリーフレットを女性が見る機会が多い場所へ配布するなど重点的な取り組みを行った。

なお、平成22年度の県政世論調査（調査時点：平成22年6月）における「やまぐち森林づくり県民税」の周知率は31.0パーセントであった。

具体的な取り組み活動の内容等は次のとおりである。

各種活動の内容

1 広報ツールの活用

- (1) やまぐち森林づくりレポートの作成・公表（4,000部）
 - ・税の導入目的や県民税関連事業の内容、実績などについて公表
 - ・県民局、県農林事務所及び各市町に配置するとともに、県ホームページでも公開
- (2) リーフレットの作成・配布
 - ・県民局、県農林事務所及び各市町、関係団体に配布（36,000部）
 - ・各種イベント、県主催会議等での配布
 - ・下関地域、宇部・小野田地域での女性や主婦の目にとまる場所への配布



◆やまぐち森林づくりレポート



◆県民税事業を紹介するリーフレット

2 広報活動

- (1) 県政放送等（教えて！リカちゃん、元気です！やまぐち、ふれあい山口（5月号・7月号）、新聞の突出広告等）
- (2) 県・市の施設やイベント等においてパネル展示
- (3) 市町や森林組合等の広報誌への掲載
- (4) 各種団体への説明（県政出前トーク等の活用）



◆きらら物産交流フェアでのパネル展示



◆農・畜・林試験研究ウオッチングでのパネル展示

3 イベントの開催等

(1) やまぐち森林づくりフェスタの開催

- ① 開催日時：平成22年5月9日（日曜日） 午前9時30分から午後3時まで
- ② 開催場所：山口市阿知須（山口きらら博記念公園）
- ③ 来場者数：約22,000人



◆式典会場（1,000人のメッセージ）



◆阿知須小学校児童による森林づくり宣言



◆全国植樹祭PR看板紹介



◆ドングリの種まき



◆人工降雨体験



◆木工体験

(2) 地域行事の実施

- ・やまぐち森林づくりの日を中心とした地域行事として、9月から11月まで、県内各地で各種イベント等に参加し、県民税の紹介コーナー等を開設（19箇所、約2万人の参加）。

(3) モデル林等の活用

- ・竹繁茂防止緊急対策事業地でのタケノコ採りの開催（10箇所、451人参加）。
- ・公益森林整備事業地等での夏休みの工作教室の開催（7箇所、255人参加）。
- ・やまぐちフラワーランドでの夏休み工作教室の開催（50人参加）。



◆竹繁茂防止緊急対策事業地での
タケノコ採り



◆夏休みの工作教室での県民税紹介

4 やまぐち森林づくり推進協議会の開催

- ・開催回数；3回

5 パブリシティの活用

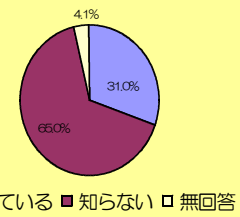
- ・プレスリリース（18回）。TV；10社14回の放映。新聞；5社20回の記事掲載。

県政世論調査の結果

1 調査概要

- (1) 調査地域…山口県全域
- (2) 調査対象…県内に在住する20歳以上の男女
3,000人
- (3) 調査時期…平成22年6月4日～6月21日
- (4) 回収数…有効回収数(率)
1,851人(61.7%)

やまぐち森林づくり県民税の周知率



2 「やまぐち森林づくり県民税」の認知状況

- (1) 周知率…知っている；31.0%、知らない；65.0%

1 平成23年度事業費について

平成23年度やまぐち森林づくり県民税の税収見込み額は4億1百万円です。この他、平成21年度の剰余金6万4千円を合わせた4億1百6万4千円を平成23年度事業費として予定しています。

平成23年度事業費 (a+b)	平成23年度税収見込額 (a)	平成21年度剰余金(注) (b)
401,064千円	401,000千円	64千円

(注) 平成21年度剰余金64千円については、平成23年度事業費に追加。

2 平成23年度事業計画について

(1) 全体概要

見直し後の2年目となる平成23年度においては、ハード事業では、森林整備効果が大きい公益森林整備事業と竹繁茂防止緊急対策事業を中核とし、県民税事業地のフォローアップや荒廃したアカマツ林の再生手法の検討などを行うモデル事業などを実施し、これまで進めてきた荒廃森林の再生をさらに加速化していきます。また、ソフト事業では、県民の森林づくり活動への参画を促進するため、ボランティア活動に対する支援を行うとともに、県民税関連事業の展開に不可欠である県民の理解促進を図るため、県民との協働による百年の森づくり推進事業を実施します。

(事業費の単位；千円)

区分	平成23年度 事業計画	5年間の 整備目標	摘要
健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）			
公益森林整備事業	整備面積	377 [㍔]	2,000 [㍔]
	事業費	192,450	
竹繁茂防止緊急対策事業	伐採面積	150 [㍔]	600 [㍔]
	再生竹除去面積 事業費	217 [㍔] 181,114	
魚つき保安林等 海岸林整備事業	整備箇所	1 [㍔]	5 [㍔]
	事業費	2,500	
豊かな森林づくり 推進事業	事業費	15,000	—
県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）			
森林づくり活動支援事業	事業費	5,000	—
県民との協働による百年 の森づくり推進事業	事業費	5,000	—
事業費計	401,064		

(2) 公益森林整備事業（ハード事業）

水源のかん養や県土保全など森林の持つ多面的機能の早期回復が求められる荒廃した私有林のスギやヒノキ人工林を対象に、本数率で40[㍔]以上を伐採し、針葉樹・広葉樹の混じり合った混交林への誘導を図る事業です。

平成23年度においては、新たに377[㍔]の整備を予定しています。

《平成23年度事業概要》

実施計画		実施方法	
整備予定面積	事業費	事業主体等	負担区分
377 [㍔]	千円 192,450	(事業主体) 森林所有者等 (事業内容) 所有者との協定に基づき 40 [㍔] 以上の強度の間伐を実施	(県) 10/10

【対象となる森林】 緊急に森林の持つ多面的機能の回復を図る必要のあるダム上流や河川源流域等の私有林の人工林。

(3) 竹繁茂防止緊急対策事業（ハード事業）

繁茂竹林等を対象に竹の伐採と、再生竹の除去による継続的な管理を行うことにより、繁茂竹林の広葉樹林等への転換を図る事業です。

平成23年度においては、竹の全伐を150㍉、平成20年度及び平成22年度に全伐作業を行った190㍉と、平成20年度の緊急雇用対策により全伐作業を行った27㍉をあわせた217㍉について、再生竹の処理を行うこととしています。

《平成23年度事業概要》

実施計画		実施方法	
整備予定面積	事業費	事業主体等	負担区分
150㍉ (竹の全伐) 217㍉ (再生竹の除去)	千円 181,114	(事業主体) 県 (事業内容) 竹の全伐 再生竹の除去	(県) 10/10

【対象となる森林】公共施設や身近な生活の場などの周辺で、森林の持つ機能を低下させている放置竹林。

(4) 魚つき保安林等海岸林整備事業（ハード事業）

身近な生活環境の保全と良好な景観を保持するため、荒廃が著しい魚つき保安林等の海岸林の整備を行う事業です。

《平成23年度事業概要》

実施計画		実施方法	
整備予定面積	事業費	事業主体等	負担区分
1㍉	千円 2,500	(事業主体) 県 (事業内容) 機能の低下の見られる保安林での植栽や簡易施設整備等	(県) 10/10

【対象となる森林】松くい虫や台風被害等自然災害により被害を受け、緊急に整備を要する海岸の保安林。

(5) 豊かな森林づくり推進事業（ハード事業）

全国に先駆けて実施している公益森林整備事業などの取り組みを確実にするために、事業実施箇所におけるフォローアップを行うとともに、本県の森林特性等を踏まえた豊かな森林づくりを進めるための先進的な事業を実施します。

《平成23年度事業概要》

区分	実施計画	実施方法	
	事業量等	事業主体等	負担区分
公益森林整備事業と竹繁茂防止緊急対策事業のフォローアップ事業	①公益森林整備事業地 5 <small>㍉</small> ②竹繁茂防止緊急対策事業地 2 <small>㍉</small>	(事業主体) 県 (事業内容) 広葉樹の植栽等	(県) 10/10
地帯特性を考慮し、地域独自の課題を把握し、対応策を講ずる	【耕作放棄地における竹繁茂対策】 2 <small>㍉</small> (竹の全伐) 2 <small>㍉</small> (再生竹の除去)	(事業主体) 県 (事業内容) 竹の全伐 再生竹の伐採	(県) 10/10
	【海岸地域における緑化対策】 1 <small>㍉</small>	(事業主体) 県 (事業内容) 潮風害に強い郷土樹種やマツクイムシ抵抗性苗木の植栽等	
	【荒廃したアカマツ林の再生対策】 2 <small>㍉</small> (植栽等) 2 <small>㍉</small> (保育・下刈り)	(事業主体) 県 (事業内容) ヤシャブシ等の肥料木植栽痩せ地や乾燥に強い樹種やマツクイムシ抵抗性苗木の植栽、深根性・浅根性等の樹種を混植等	
	【身近な森と緑を提供する自然公園の再生】 1 <small>㍉</small>	(事業主体) 県 (事業内容) シダやツルなどで覆われ藪化した森林の自然林への誘導、景観整備、四季折々の特色ある広葉樹等の植栽等	
	【市町からの提案】	—	
事業費計	15,000千円	—	—

(6) ハード事業の実施スケジュール

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公益森林整備事業	要望量調査		測量・設計等			事業実施						
竹繁茂防止緊急対策事業 (竹の全伐) (再生竹の除去)	要望量調査		測量・設計等			事業実施						
魚つき保安林等 海岸林整備事業	要望量調査		測量・設計等			事業実施						
豊かな森林づくり推進事業 (広葉樹の植栽等) (再生竹の除去、下刈)	現地調査等		測量・設計等			事業実施						

(注) 今後、市町の要望量調査を行い、事業配分等について推進協議会の意見を聴いて着手。

(7) 森林づくり活動支援事業（ソフト事業）

県民の森林づくり活動への参画を促進し、森林づくりへの理解をさらに高めるため、森林ボランティア団体、NPO、自治会、企業等による森林整備に必要な資機材の提供などを行い、県民の自主的な森林づくり活動を支援します。

《平成23年度事業概要》

実施計画		実施方法	
支援団体数	事業費	事業主体等	負担区分
10団体	千円 5,000	(事業主体) ボランティア団体等 (支援内容) 森林整備活動などに必要となる資機材の提供など	(県) 10/10

《スケジュール》

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
森林づくり活動支援事業	公募期間	審査選考	事業実施									

(8) 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）

周知啓発については、一定の成果がみられますが、引き続き県民への一層の周知を図る必要があります。

見直し後の2年目となる平成23年度においては、これまでの取り組み実績も活かし、イベントの開催や広報、パブリシティを積極的に活用した効果的な周知活動を実施し、税の目的や税制度の内容に加えて、今期から取り組んでいるボランティアへの支援事業などの県民税関連事業を広く県民に周知することとし、具体的には、次表に示す取り組みを予定しています。

また、平成22年度に重点的に行った周知率の低い方への周知活動の取り組みを検証し、その結果を今後の周知活動へ反映します。

なお、この取り組みに当たっては、やまぐち森林づくり推進協議会をはじめとする幅広い県民の皆様のご意見を反映しながら進めることとします。

この他「やまぐち森林づくりフェスタ」は、全国植樹祭のプレイメントとして位置づけ、植樹祭の開催時期（春期開催）に合わせて開催を予定しています。

事業計画の内容

1 県民税関連事業として実施する事業

(1) 「やまぐち森林づくりフェスタ」の開催

① 開催時期

平成23年5月29日（日）

② 開催場所

山口市阿知須「山口きらら博記念公園」

③ 開催趣旨

森林づくり県民税の周知に加え、全国植樹祭のプレイメントとして開催。

(2) 広報ツールの作成

① やまぐち森林づくりレポートの作成・公表

② イベントや集会等で活用できるパネルの作成

(3) タケノコ採りイベントやモデル林等を活用した学習会の開催等

(4) やまぐち森林づくり推進協議会の開催

2 広報活動

(1) 県政放送等（県広報誌「ふれあい山口」の活用、県ホームページ、新聞広報等）

(2) 市町、森林組合広報誌などへの掲載

(3) 県・市の施設やイベント等におけるパネル展示

(4) きらら物産・交流フェアなどのイベントに合わせた周知活動

3 その他

- (1) 周知率の低い方に対する周知活動（下関地域、宇部・小野田地域の若年層の女性や主婦への周知活動の展開）
 - ① 市内の消費者団体等への出前講座の開催
 - ② 事業地で伐採された木材や竹を使った木工・竹細工教室等の開催
 - ③ 女性や主婦の目にとまる美容院、スーパーなどへの森林づくりレポートの配布等
- (2) 森林づくりの日に合わせた地域行事の連携開催等。
- (3) プレスリリースなどを積極的に対応し、引き続きパブリシティを通じた周知を促進する。
- (4) 県政世論調査による周知度の測定等を行い、周知活動に反映する。